

生命科学・医学研究実施のお知らせ

当財団倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、この研究に試料や情報を利用することをご了解頂けない場合は、【問い合わせ先】へご照会ください。

【研究課題名】

ホルモン関連腫瘍における腫瘍マーカーの研究

【研究の概要】

● 研究の目的

がんバイオマーカーの一般的な評価方法の一つとして免疫組織化学染色が挙げられます。この評価方法は、がんバイオマーカーが発現している細胞の場所とその大まかな強度を評価できますが、たとえ熟練した病理医が観察しても、数値として患者さんにご提供する検査としては不向きです。

医療が進歩して患者さんごとに最も適切な治療を選択してもらうことができるようになってきました。癌細胞を細かく分類しますが、標的がんバイオマーカーが癌細胞に少しでもあれば、癌細胞に直接作用する優れた治療法があります。そこで、癌細胞の標的分子の発現量を数値化する正確な検査方法が求められるようになりました。

本研究ではホルモン関連腫瘍（乳癌、前立腺癌）に焦点を絞り、その効果が不十分と考えられているがんバイオマーカー、また、臨床において有用であると報告されているがんバイオマーカーを中心に新たな診断薬開発の可能性を検討します。

本研究では杏雲堂病院にて包括的な同意のもと、保管されているホルモン関連腫瘍のホルマリン固定パラフィンブロックおよびそれに付随する診断情報を用います。この研究を行うにあたり、個人情報の取り扱いには十分に配慮をしますので、個人情報が流出することはありません。ただし、研究に参加したくない場合には、その機会を設けていますので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

● 研究期間

承認日～1年間まで、研究の実施を予定しています。

● オプトアウト期間

本研究が公示されてから論文化・学会発表前まで可能です。オプトアウト期間が過ぎても申し出があれば、個人情報とサンプル情報を切り離す等の対応を行い、出来る最大限の配慮を行います。

● 対象となる方等

研究期間：附属杏雲堂病院 湘南健診センター

2015年9月から2024年11月までに杏雲堂病院で、ホルモン関連腫瘍（乳癌、前立腺癌）に対する手術が行われた患者さん。

- 研究に利用する試料、情報等
腫瘍組織、診療情報(画像診断情報、カルテの記載情報)
 - 試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名
公益財団法人佐々木研究所 佐々木 敬
 - 他の機関(検査会社等含む)へ試料や情報※等を提供する方法
本研究では、以下の機関に、試料および情報等を提供致します。
提供先の機関：富士レジオ株式会社 研究開発本部 青柳 克己
- 【問い合わせ先(対応時間：平日 9:00 ~ 17:00)】

公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 病理部

研究代表者：岩屋啓一

電話：03-3292-2051(内線：2215)

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。